別記様式第8号（別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記5の第6、別記8の第6の1の（1）関係）

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業（都道府県広域捕獲活動支援事業）鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業、シカ特別対策等事業、鳥獣被害防止対策促進支援事業（広域柵等鳥獣被害防止施設整備事業）の評価報告（令和6年度報告）

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 （協議会名）	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績 被害金額（千円）			被害面積（a）			事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価 （東部農林事務所案）
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率			
長泉町鳥獣被害防止対策協議会	長泉町	令和3年度～令和5年度	イノシシ ニホンジカ ニホンザル ハクビシン タヌキ アナグマ カラス ドバト ヒヨドリ	推進事業	（R3） ・箱わな（イノシシ・シカ用）4基の整備	長泉町鳥獣被害防止対策協議会	－	－	R3にイノシシ・シカ用の箱わな、R5に小動物用の箱わなを整備し、わなによる捕獲の実施場所が増えたことに伴い、イノシシ・シカのR5の捕獲実績はR3に比べ32頭増加した。	2,654	162	628%	56	16	464%	被害金額、被害面積ともに当初計画した目標値を達成することができた。獣種によって差はあるが、全体的にみると捕獲頭数は増加傾向にあり、箱わなの導入による効果が見込める。引き続き、関係団体と連携し、被害防止に取り組んでいき、鳥獣が寄り付かない環境づくりを行っていく。	被害金額、被害面積ともに目標を達成している。引き続き更なる鳥獣被害軽減に向けて効果的な事業を展開することを期待したい。（静岡県農林技術研究所　森林・林業研究センター　上席研究員　神谷健太）	被害防止計画に定める目標を、被害金額、被害面積ともに達成している。引き続き、実施隊、地区猟友会等と連携し、更なる被害の縮小に努めてほしい。
					（R5） ・箱わな（小動物用）1基の整備													
				緊急捕獲活動支援事業	（R3） イノシシ成獣　9 シカ成獣　9 サル成獣　3 サル幼獣　1 ハクビシン　5 アナグマ　1	－	―	―										
					（R4） イノシシ成獣　2 イノシシ幼獣　2 シカ成獣　34 サル幼獣　2 ハクビシン　18 アナグマ　7 タヌキ　1													
					（R5） イノシシ成獣　7 シカ成獣　30 シカ幼獣　6 ハクビシン　11 タヌキ　5 アナグマ　1													